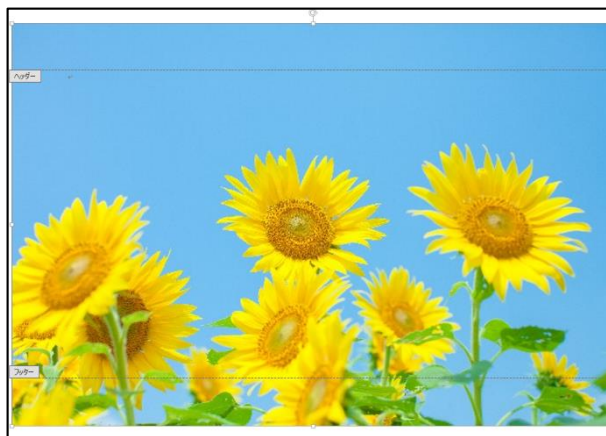


布絵を作ろう

布地を切り貼りして絵画作品にしたものを、布絵といいます。ワードを使って、布絵風作品をつくってみましょう。

1. 下絵

- ①下絵となる写真・イラストを用意します。作品例では、ひまわり畑を描いてみます。
- ②ワードを起動し、ページレイアウトを縦・横いずれか適切なほうに設定。
- ③ヘッダーを開き、①で用意した下絵を挿入。用紙いっぱいに拡大します。
- ④ヘッダーを閉じます。



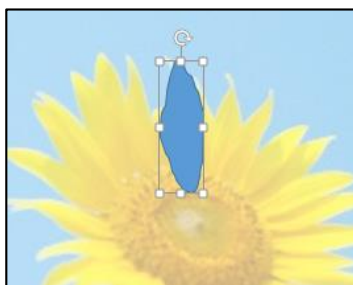
2. 布テクスチャの用意

「布テクスチャ」というキーワードで、インターネット上から布地の写真を集めます。下絵で使われている色を中心に、いろいろな布地を集めましょう。

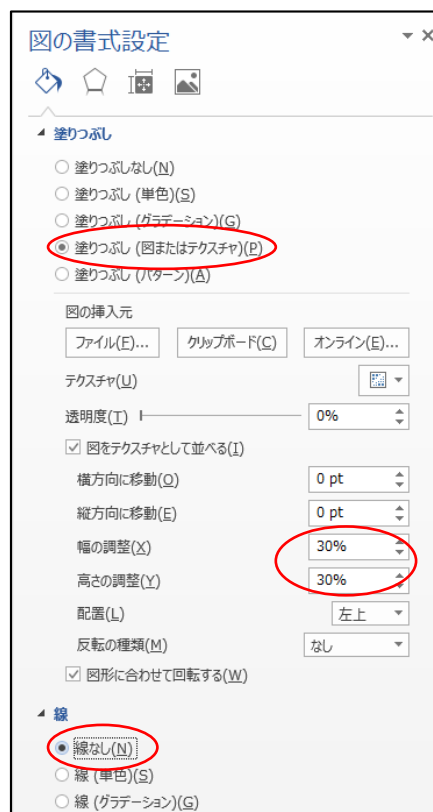


3. パーツの作成

- ①「挿入」タブ→「図形」→「フリーフォーム」で、1つのパーツを描きます。(写真そっくりである必要はありません。)



- ②図の書式設定ウィンドウを表示し（「書式」タブ→「図形のスタイル」のダイアログボックスランチャー）、線なし・図で塗りつぶし設定にします。塗りつぶす図は、用意した布テクスチャ。「図をテクスチャとして並べる」にチェックし、幅や高さの調整（倍率）は、布柄などを見ながら設定します。



③「図形の効果」→「面取り」→「丸」で、パーツを立体化します。

④図形をコピー→「貼り付け」のオプションで、「図として貼り付け」ます。

⑤貼り付けた図を、「図の効果」でぼかします。ぼかすサイズは、「立体感を残しながら、周囲に布風のケバ立ちが発生する程度」に設定します。



⑥⑤でできた「図」を、パーツとして使用します。元の「図形」は、不要になったら削除します。

⑦同様にして、他のパーツも作成して、ひまわりを1つ完成させましょう。

ヒント1：花びらをすべて作成するのは、たいへん。5～6枚作成したら、あとはコピー→回転や拡大縮小で補ってしまいましょう。

ヒント2：図形の設定を1つずつおこなうのは、めんどろ。花びらを5～6枚作成したら、すべて選択して、まとめて塗りつぶしなどの設定をおこなうと、手早く作業できます。

ヒント3：茎を描く図形は、「フリーフォーム」でもかまいませんが、「大波」を使うと簡単です。

⑧完成したら、グループ化します。

ヘッダーを開き、下絵を非表示にして、出来ぐあいを確認します。

ヒント4：パーツ同士の前後関係に、注意しましょう。「オブジェクトの選択と表示」をオンにして、

「選択」ウィンドウを表示させておくと便利です。

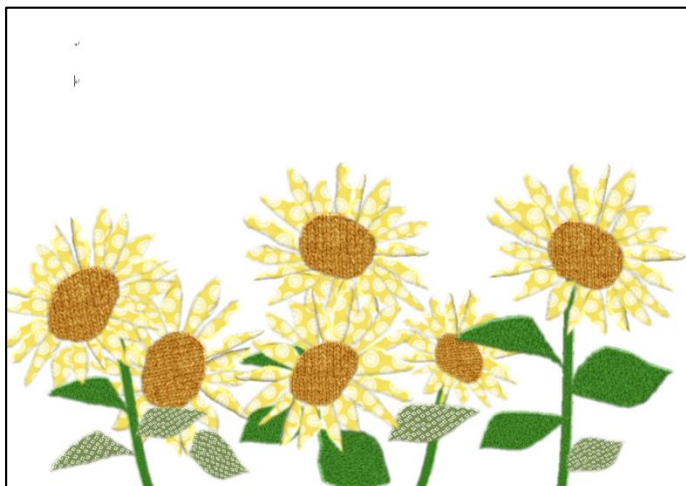
ヒント5：微調整したいときは、グループ化を解除せずにパーツを選択→そのパーツだけ移動・変形できます。



Word187

4. 花のコピー

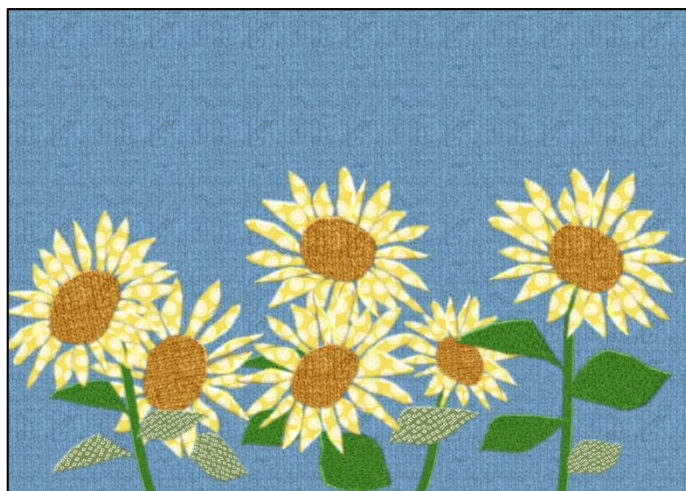
- ① 3 で作成した花を、コピーします。
- ② コピーしたものをグループ化解除します。並べ替えたり、パーツを一部変更・追加・削除・変形したりして、別の花を作成します。
- ③ ② で作成した花を、グループ化します。
- ④ 同様にして、花をいくつか作成します。
- ⑤ グループ化された花の前後関係を調整、葉など必要に応じて追加します。
- ⑥ 下絵を非表示にしてみましょう。



5. 背景

- ① 用紙全体を覆うように、四角形を挿入します。
- ② 背景用の布テクスチャで塗りつぶします。
- ③ 最背面へ移動。

ヒント 6 : 布テクスチャの色は、「書式」タブ→「色」で変更することもできます。



- ④ 余裕のあるかたは、布テクスチャで塗りつぶしたワードアートを、入れてみましょう。

(ワードアートのテクスチャ塗りつぶしは、Word069 補助テキストを参照してください。)

ヒント 7 : Word2010 以降では、ワードアートのテクスチャ塗りつぶし機能はなくなりました。Word2010 以降で、Word2007 のワードアートを利用する場合は、「Alt+I→P→W」です。

